

和気町下水道事業経営戦略

団 体 名	和気町
事 業 名	下水道事業
策 定 日	令和 6 年 3 月
計 画 期 間	令和 5 年度 ～ 令和 14 年度

1. 事業概要

(1) 事業の現況

① 施 設

供 用 開 始 年 度 (供用開始後年数)	公共：昭和63年度（35年経過） 特環：平成2年度（33年経過） 農集：平成2年度（33年経過） 個別：平成6年度（29年経過）	法 適（全部適用・一部適用） 非 適 の 区 分	法適用
処 理 区 域 内 人 口 密 度	公共：15.4人/ha 特環：17.2人/ha 農集：18.9人/ha 個別：42.0人/ha	流 域 下 水 道 等 へ の 接 続 の 有 無	接続無し
処 理 区 数	公共：1区域 特環：2区域 農集：4区域		
処 理 場 数	公共：1箇所 特環：2箇所 農集：4箇所 個別：20基		
広域化・共同化・最適化 実施状況*1	■室原処理場を廃止し、日笠処理区へ接続し最適化を図った。		

② 使 用 料

一般家庭用使用料体系の 概 要 ・ 考 え 方	■水道単独使用世帯 基本使用料 8㎡以下 1,255円 超過使用料 1㎡につき 155円	■水道・井戸水併用世帯 し尿・雑排水 料金 基本使用料 1,255円 + 1人につき 805円 8人以上世帯 6,440円
業務用使用料体系の 概 要 ・ 考 え 方	基本使用料 10㎡以下 1,779円 超過使用料 11㎡～100㎡まで 1㎡につき 155円 101㎡以上 1㎡につき 166円	
その他の使用料体系の 概 要 ・ 考 え 方		
条 例 上 の 使 用 料 *2 (20㎡あたり) ※過去3年度分を記載	令和2年度 3,115 円 令和3年度 3,115 円 令和4年度 3,115 円	実 質 的 な 使 用 料 *3 (20㎡あたり) ※過去3年度分を記載 令和2年度 3,765 円 令和3年度 3,848 円 令和4年度 3,044 円

*2 条例上の使用料とは、一般家庭における20㎡あたりの使用料をいう。

*3 実質的な使用料とは、料金収入の合計を有収水量の合計で除した値に20㎡を乗じたもの（家庭用のみでなく業務用を含む）をいう。

③ 組織

職 員 数	損益勘定職員 5人 資本勘定職員 1人
事業運営組織	産業建設部 — 上下水道課 水道係 下水道係

(2) 民間活力の活用等

民間活用の状況	ア 民間委託 (包括的民間委託を含む)	処理場・マンホールポンプの維持管理を民間委託
	イ 指定管理者制度	なし
	ウ PPP・PFI	なし
資産活用の状況	ア エネルギー利用 (下水熱・下水汚泥・発電等) *4	なし
	イ 土地・施設等利用 (未利用土地・施設の活用等) *5	なし

*4 「エネルギー利用」とは、下水汚泥・下水熱等、下水道事業の実施に伴い生じる資源(資産を含む)を用いた収入増につながる取組を指す。

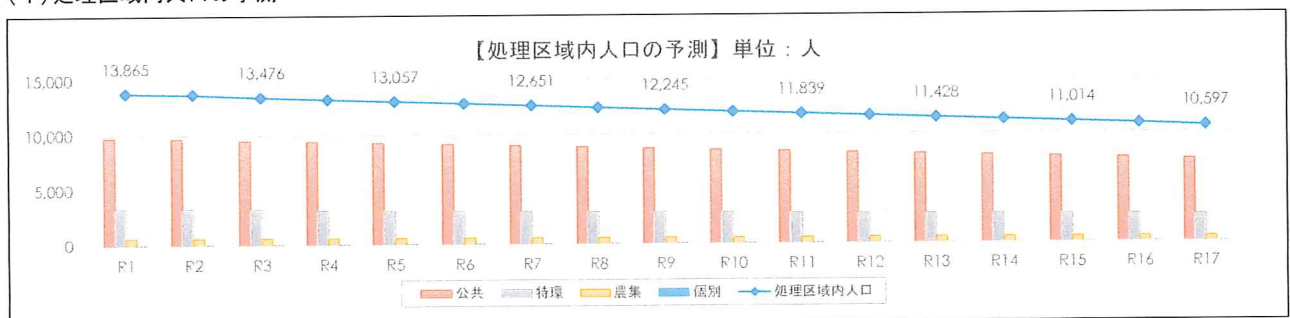
*5 「土地・施設等利用」とは、土地・建物等、下水道事業の実施に不可欠な資産を用いた、収入増につながる取組を指す(単純な売却は除く)。

(3) 経営比較分析表を活用した現状分析

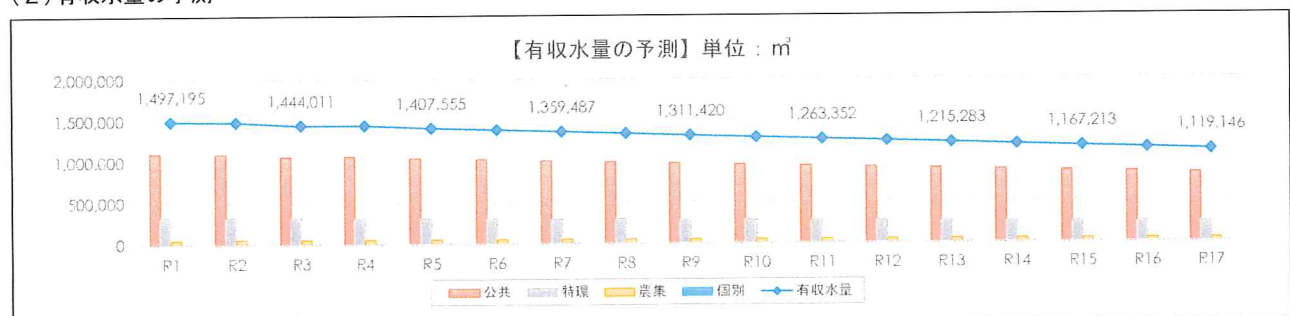
各事業年度において、「経営比較分析表」により検討・見直しを行っている。

2. 将来の事業環境

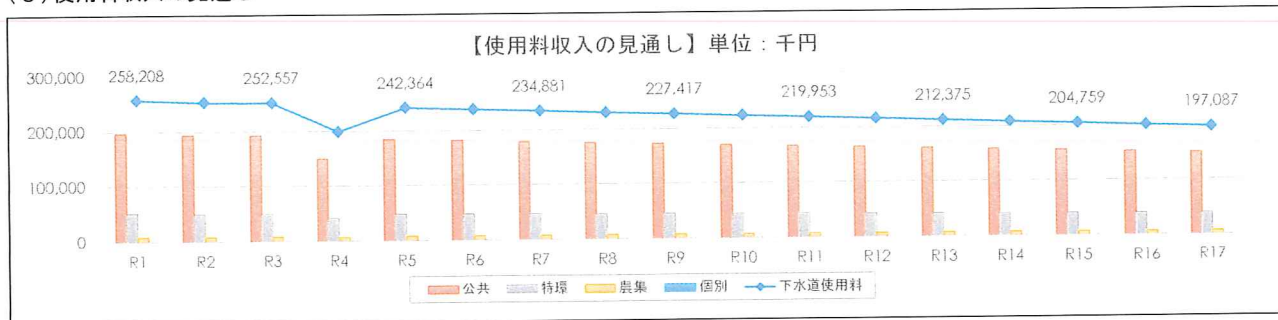
(1) 処理区域内人口の予測



(2) 有収水量の予測



(3) 使用料収入の見通し



3. 経営の基本方針

『良質な下水道サービスを、持続的に提供する。』

◆安全・安定な生活を支えます

汚水の排除による生活環境の改善、雨水の排除による浸水の防除、公共用水域の水質保全という下水道の基本的な役割を果たし、町民の安全で快適な生活を守ります。

◆将来世代にわたり、持続的な下水道サービスを提供します

適正な事業計画・財政計画を基に経営を行い、下水道施設の計画的な維持管理・更新等を通じ、下水道サービスの持続的な提供を行います。

◆経営の合理化に努めます

独立採算制を原則とした企業体であるため、業務の効率化に努め経営基盤の強化を図り、最小の経費で最良のサービスを安定的に提供します。

4. 投資・財政計画（収支計画）

（１）投資・財政計画（収支計画）：別紙のとおり

（２）投資・財政計画（収支計画）の策定に当たっての説明

① 収支計画のうち投資についての説明

目 標	第１期・第２期ストックマネジメント計画等をもとに、計画的な更新を行っていく。
-----	--

計画期間の前半は和気浄化センター、計画期間の後半は佐伯浄化センター、山田浄化センター等の工事を計画しており、約28億円の投資計画としている。

② 収支計画のうち財源についての説明

目 標	・ 収納率の向上及び、接続の促進について引き続き積極的に取り組んでいきます。 ・ 建設改良費の財源として借り入れる企業債について、支払利息の負担を抑制する目的などから、今後も可能な限り残高を縮減するよう取り組んでいきます。
-----	---

・ 下水道使用料
処理区域内人口に伴い、下水道使用料収入についても減少する見込みとしている。

・ 企業債
企業債残高の縮減を図るため、事業費の７割程度の借入としている。

・ 他会計繰入金
繰入金の総額及び基準外の繰入金については、計画期間中に縮減に向かう計画としている。しかし、2億円を超える基準外の繰入が見込まれるため、引き続き経営の効率化や収入増加に取り組み、財源の確保に努めていきます。

③ 収支計画のうち投資以外の経費についての説明

- ・ 職員給与費に関する事項
令和５年度予算を参考に、計画期間中の職員給与費を算出している。
- ・ 動力費に関する事項
令和４・５年度の数値を基に、物価上昇を加味し算出している。
- ・ 薬品費に関する事項
過去５ヶ年の数値を基に算出している。
- ・ 修繕費に関する事項
過去５ヶ年の数値を基に算出している。
- ・ 委託費に関する事項
過去５ヶ年の数値を基に算出している。

(3) 投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

① 今後の投資についての考え方・検討状況

広域化・共同化・最適化に関する事項	採算性を念頭に置き、本町に見合った施策を随時検討します。
投資の平準化に関する事項	計画的な投資について、随時検討します。
民間活力の活用に関する事項 (PPP/PFIなど)	民間活力の活用によりコスト削減につながる取り組みを随時検討します。
その他の取組	なし

② 今後の財源についての考え方・検討状況

使用料の見直しに関する事項	人口減少に伴う使用料収入の減少、施設の経年劣化に伴う更新コストの増大は避けられません。計画期間中の使用料の改定は予定していませんが、継続的に適正な使用料水準について検討を行います。
資産活用による収入増加の取組について	本町に見合った資産活用を随時検討します。
その他の取組	なし

③ 投資以外の経費についての考え方・検討状況

民間活力の活用に関する事項 (包括的民間委託等の民間委託、指定管理者制度、PPP/PFIなど)	民間活力の活用によりコスト削減につながる取り組みを随時検討します。
職員給与費に関する事項	計画期間中の職員数の増減は見込んでいませんが、業務内容の変化に応じて適切な人員配置を検討します。
動力費に関する事項	設備更新時に規格を見直すなど、コスト削減につながる取り組みを随時検討します。
薬品費に関する事項	広域連携による一括購入等、コスト削減につながる取り組みを随時検討します。
修繕費に関する事項	経年劣化により、今後は修繕費が増加することが見込まれるため、計画的な修繕を行いコスト削減に努めます。
委託費に関する事項	コスト削減につながる取り組み、効率的な委託方策を随時検討します。
その他の取組	なし

5. 経営戦略の事後検証、改定等に関する事項

経営戦略の事後検証、改定等に関する事項	毎年度、進捗管理(モニタリング)を行い、5年を目途に見直し(ローリング)を行います。
---------------------	--

【收益全体】

(単位:千円)

[illegible]

【資本_全体】

(単位:千円)

区 分		年 度		2023年度 (R05)														2024年度 (R06)														2025年度 (R07)														2026年度 (R08)														2027年度 (R09)														2028年度 (R10)														2029年度 (R11)														2030年度 (R12)														2031年度 (R13)														2032年度 (R14)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	

(単位:千円)

○他会計繰入金

区 分		年 度									
		2023年度 (R05)	2024年度 (R06)	2025年度 (R07)	2026年度 (R08)	2027年度 (R09)	2028年度 (R10)	2029年度 (R11)	2030年度 (R12)	2031年度 (R13)	2032年度 (R14)
収 益 的	収 支 分										
	うち基準内繰入金	490,912	426,823	410,848	409,137	406,347	412,643	411,947	411,122	427,407	435,181
	うち基準外繰入金	314,061	287,839	267,248	259,804	255,358	256,975	250,966	244,848	251,850	252,603
		176,851	138,984	143,600	149,333	150,989	155,668	160,981	166,274	175,557	182,578
資 本 的	収 支 分	147,714	171,570	144,489	127,541	110,981	100,595	94,312	87,709	81,414	67,583
	うち基準内繰入金	36,609	34,073	32,081	30,514	29,280	28,308	27,541	26,362	26,135	25,087
	うち基準外繰入金	111,105	137,497	112,408	97,027	81,701	72,287	66,771	61,347	55,279	42,496
合 計		638,626	598,393	555,337	536,678	517,328	513,238	506,259	498,831	508,821	502,764

【公益収】

(単位:千円)

[illegible]

【資本_公共】

(単位:千円)

区分		年度	2023年度 (R05)	2024年度 (R06)	2025年度 (R07)	2026年度 (R08)	2027年度 (R09)	2028年度 (R10)	2029年度 (R11)	2030年度 (R12)	2031年度 (R13)	2032年度 (R14)
資本的収入	資本的収入	1. 企業	197,300	77,400	178,700	451,600	433,000	55,800	58,600	127,700	268,900	168,400
		うち資本費平準化債	83,000	74,200	63,500	60,000	56,900	55,800	53,200	51,100	50,400	46,200
		2. 他会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		3. 他会	77,416	136,108	116,493	106,358	91,932	82,060	76,511	70,771	64,415	51,488
		4. 他会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		5. 他会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		6. 国(都道府県)補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		7. 固定資産売却代金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		8. 工事負担金	900	900	900	900	900	900	900	900	900	900
		9. その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
資本的支出	資本的支出	計	275,616	214,408	296,093	558,858	525,832	138,760	136,011	199,371	334,215	220,788
		(A)のうち翌年度へ繰り越される支出の財源充当額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		純計	275,616	214,408	296,093	558,858	525,832	138,760	136,011	199,371	334,215	220,788
		1. 建設改良費	114,300	4,600	164,600	559,400	537,300	0	7,700	109,420	312,200	174,600
		うち職員給与費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		2. 企業債償還金	419,115	374,613	320,370	302,685	286,758	281,177	267,683	257,060	253,174	231,574
		3. 他会計長期借入返還金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		4. 他会計への支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		5. その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	533,415	379,213	484,970	862,085	824,058	281,177	275,383	366,480	565,374	406,174
補填財源	補填財源	資本的収入額が資本的支出額に不足する額 (D)-(C) (E)	257,799	164,805	188,877	303,227	298,226	142,417	139,372	167,109	231,159	185,386
		1. 損益勘定留保資金	257,799	164,805	179,542	257,519	253,840	142,417	139,372	160,614	205,926	172,047
		2. 利益剰余金処分額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		3. 繰越工事資金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		4. その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	257,799	164,805	188,877	303,227	298,226	142,417	139,372	167,109	231,159	185,386
		補填財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		他会計借入金残高 (G)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		企業債残高 (H)	3,927,296	3,630,082	3,488,412	3,637,327	3,783,569	3,558,192	3,349,109	3,219,749	3,235,476	3,172,302

○他会計繰入金

区分		年度	2023年度 (R05)	2024年度 (R06)	2025年度 (R07)	2026年度 (R08)	2027年度 (R09)	2028年度 (R10)	2029年度 (R11)	2030年度 (R12)	2031年度 (R13)	2032年度 (R14)
収益的収入	収益的収入	うち基準内繰入金	370,658	289,824	279,279	279,552	277,819	284,509	283,316	279,013	280,413	287,958
		うち基準外繰入金	222,522	205,664	192,001	186,592	184,643	188,038	183,220	180,202	187,988	189,765
		計	593,180	495,488	471,280	466,144	462,462	472,547	466,536	459,215	468,401	477,723
資本的支出	資本的支出	うち基準内繰入金	148,136	84,160	87,278	92,960	93,176	96,471	100,096	98,811	92,425	98,193
		うち基準外繰入金	77,416	136,108	116,493	106,358	91,932	82,060	76,511	70,771	64,415	51,488
		計	225,552	220,268	203,771	199,318	185,108	178,531	176,607	169,582	156,840	149,681
合計	合計	うち基準内繰入金	15,834	14,189	12,899	11,887	11,093	10,471	9,983	9,600	9,300	9,064
		うち基準外繰入金	61,582	121,919	103,594	94,471	80,839	71,589	66,528	61,171	55,115	42,424
		計	77,416	136,108	116,493	106,358	91,932	82,060	76,511	70,771	64,415	51,488

【収益_特環】

【収益_特損】

区 分		年 度											(単位:千円)		
		2023年度 (R05)	2024年度 (R06)	2025年度 (R07)	2026年度 (R08)	2027年度 (R09)	2028年度 (R10)	2029年度 (R11)	2030年度 (R12)	2031年度 (R13)	2032年度 (R14)				
収益	1. 営 業 収 入	48,109	47,368	46,624	45,883	45,142	44,401	43,660	42,912	42,156	41,400	△ 10,197	△ 10,197	△ 10,197	△ 10,197
	(1) 料 金 収 入	48,108	47,367	46,623	45,882	45,141	44,400	43,659	42,911	42,155	41,399				
	(2) 受 託 事 業 収 益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	(3) そ の 他	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1				
	2. 営 業 外 収 益	165,936	167,393	159,331	158,435	158,318	158,640	159,536	160,867	175,874	175,790				
	(1) 補 助 金	97,443	105,320	101,082	99,950	99,653	99,881	100,726	105,341	120,304	120,708				
	他 会 計 補 助 金	97,443	105,320	101,082	99,950	99,653	99,881	100,726	105,341	120,304	120,708				
	そ の 他 補 助 金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	(2) 長 期 前 受 金 入	68,477	62,072	58,248	58,484	58,664	58,758	58,809	55,525	55,569	55,081				
	(3) そ の 他	16	1	1	1	1	1	1	1	1	1				
収益	1. 営 業 費 用	214,045	214,761	205,955	204,318	203,460	203,041	203,196	203,779	218,030	217,190	△ 10,197	△ 10,197	△ 10,197	△ 10,197
	(1) 職 員 給 与 費	2,033	2,033	2,033	2,033	2,033	2,033	2,033	2,033	2,033	2,033				
	基 本 給	1,013	1,013	1,013	1,013	1,013	1,013	1,013	1,013	1,013	1,013				
	退 職 給 付 費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	そ の 他	1,020	1,020	1,020	1,020	1,020	1,020	1,020	1,020	1,020	1,020				
	(2) 経 費	48,294	52,709	53,002	53,300	53,604	53,914	54,230	54,553	54,882	55,217				
	力 費	15,273	14,429	14,718	15,012	15,312	15,618	15,930	16,249	16,574	16,905				
	修 繕 費	10,700	12,429	12,429	12,429	12,429	12,429	12,429	12,429	12,429	12,429				
	材 料 費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	そ の 他	22,321	25,851	25,855	25,859	25,863	25,867	25,871	25,875	25,879	25,883				
支出	(3) 減 価 却 費	150,446	141,109	134,847	134,807	134,782	134,678	134,870	133,987	144,119	143,187	△ 10,197	△ 10,197	△ 10,197	△ 10,197
	2. 営 業 外 費 用	23,469	18,910	16,073	14,178	13,041	12,416	12,063	13,206	16,996	16,753				
	(1) 支 払 利 息	15,469	10,910	8,073	6,178	5,041	4,416	4,063	5,206	8,996	8,753				
	(2) そ の 他	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000				
	(D)	224,242	214,761	205,955	204,318	203,460	203,041	203,196	203,779	218,030	217,190				
	経 常 損 益 (C)-(D)	△ 10,197	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	特 別 利 益 (F)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	特 別 損 失 (G)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	特 別 損 益 (F)-(G)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	当 年 度 純 利 益 (又は純損失) (E)+(H)	△ 10,197	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
繰越利益剰余金又は累積欠損金 (I)		△ 10,197	△ 10,197	△ 10,197	△ 10,197	△ 10,197	△ 10,197	△ 10,197	△ 10,197	△ 10,197	△ 10,197				

【資本_特環】

【資本_符塚】

区 分		年 度											(単位:千円)	
資本的収入	資本的支出	1. 企業債	償	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	2032年度	
		うち資本費平準化債	債	(R05)	(R06)	(R07)	(R08)	(R09)	(R10)	(R11)	(R12)	(R13)	(R14)	
資本的収入	資本的	2. 他会計出資金	金	57,200	47,300	38,800	29,900	23,100	32,600	169,100	418,300	15,700	16,900	
	資本的	3. 他会計補助金	金	56,000	47,300	38,800	29,900	23,100	19,500	18,000	15,100	15,700	16,900	
	資本的	4. 他会計負担金	金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	資本的	5. 他会計借入金	金	42,848	20,117	14,409	10,838	8,859	8,554	8,317	8,132	7,988	7,876	
	資本的	6. 国(都道府県)補助金	金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	資本的	7. 固定資産売却代金	金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	資本的	8. 工事負担金	金	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	
	資本的	9. その他の	他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	資本的	計	(A)	100,398	67,767	53,559	41,088	32,309	41,504	177,767	426,782	24,038	25,126	
資本的支出	資本的	(A)のうち翌年度へ繰り越される支出の財源充当額	(B)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	資本的	純計	(C)	100,398	67,767	53,559	41,088	32,309	41,504	177,767	426,782	24,038	25,126	
	資本的	うち職員給与費	費	1,200	0	0	0	0	18,700	215,800	575,980	0	0	
	資本的	2. 企業債償還金	金	190,926	161,099	131,928	101,395	78,314	66,037	60,758	50,748	52,717	56,547	
	資本的	3. 他会計長期借入返還金	金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	資本的	4. 他会計への支出金	金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	資本的	5. その他の	他	891	640	640	640	640	640	640	640	640	640	
	資本的	計	(D)	193,017	161,739	132,568	102,035	78,954	85,377	277,198	627,368	53,357	57,187	
	資本的	(D)-(C) 資本的収入額が資本的支出額に不足する額	(E)	92,619	93,972	79,009	60,947	46,645	43,873	99,431	200,586	29,319	32,061	
補填財源	1. 損益勘定留保資金	金	92,619	93,972	79,009	60,947	46,645	42,612	80,241	148,643	29,319	32,061		
	2. 利益剰余金処分額	金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	3. 繰越工事資金	金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	4. その他の	他	0	0	0	0	0	1,261	19,190	51,943	0	0		
補填財源	計	(F)	92,619	93,972	79,009	60,947	46,645	43,873	99,431	200,586	29,319	32,061		
	(E)-(F) 補填財源不足額	(G)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
他会計借入金残高	高	(H)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
企業	業債		966,867	853,069	759,941	688,446	633,231	599,794	708,136	1,075,688	1,038,671	999,024		

○他会計繰入金

区 分		年 度										
		2023年度 (R05)	2024年度 (R06)	2025年度 (R07)	2026年度 (R08)	2027年度 (R09)	2028年度 (R10)	2029年度 (R11)	2030年度 (R12)	2031年度 (R13)	2032年度 (R14)	
収 益 的	収 支 分	97,443	105,320	101,082	99,950	99,653	99,881	100,726	105,341	120,304	120,708	
	うち基準内繰入金	79,538	71,893	66,502	64,237	62,818	61,928	61,192	59,290	58,724	58,003	
	うち基準外繰入金	17,905	33,427	34,580	35,713	36,835	37,953	39,534	46,051	61,580	62,705	
資 本 的	収 支 分	42,848	20,117	14,409	10,838	8,859	8,554	8,317	8,132	7,988	7,876	
	うち基準内繰入金	11,234	10,402	9,755	9,251	8,859	8,554	8,317	8,132	7,988	7,876	
	うち基準外繰入金	31,614	9,715	4,654	1,587	0	0	0	0	0	0	
合 計		140,291	125,437	115,491	110,788	108,512	108,435	109,043	113,473	128,292	128,584	

【**集**】

(単位:千円)

[illegible]

【資本_農集】

区 分		年 度												(単位:千円)	
資本	的	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	2032年度				
		(R05)	(R06)	(R07)	(R08)	(R09)	(R10)	(R11)	(R12)	(R13)	(R14)				
資本	1. 企業	9,200	8,400	7,400	5,500	4,200	3,100	0	0	0	0				
	うち資本費平準化債	9,200	8,400	7,400	5,500	4,200	3,100	0	0	0	0				
	2. 他会計出資金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	3. 他会計補助金	25,853	13,881	12,078	8,987	8,939	8,894	8,852	8,241	8,458	7,758				
	4. 他会計負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	5. 他会計借入金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	6. 国(都道府県)補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	7. 固定資産売却代金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	8. 工事負担金	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200				
	9. その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
資本	計	35,253	22,481	19,678	14,687	13,339	12,194	9,052	8,441	8,658	7,958				
	(A)のうち翌年度へ繰り越される支出の財源充当額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	純計	35,253	22,481	19,678	14,687	13,339	12,194	9,052	8,441	8,658	7,958				
	1. 建設改良費	500	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	うち職員給与費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	2. 企業債償還金	44,758	40,810	35,781	26,566	19,903	14,554	10,786	8,441	8,658	7,958				
	3. 他会計長期借入返還金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	4. 他会計への支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	5. その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	計	45,258	40,810	35,781	26,566	19,903	14,554	10,786	8,441	8,658	7,958				
資本的収入額が資本的支出額に不足する額 (D)-(C) (E)		10,005	18,329	16,103	11,879	6,564	2,360	1,734	0	0	0				
補填財源	1. 損益勘定留保資金	10,005	18,329	16,103	11,879	6,564	2,360	1,734	0	0	0				
	2. 利益剰余金処分額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	3. 繰越工事資金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	4. その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
計		10,005	18,329	16,103	11,879	6,564	2,360	1,734	0	0	0				
補填財源不足額 (E)-(F)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
他会計借入金残高 (G)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
企業債残高 (H)		210,347	177,937	149,556	128,490	112,788	101,334	90,548	82,106	73,448	65,490				

○他会計繰入金

区 分		年 度											
		2023年度 (R05)	2024年度 (R06)	2025年度 (R07)	2026年度 (R08)	2027年度 (R09)	2028年度 (R10)	2029年度 (R11)	2030年度 (R12)	2031年度 (R13)	2032年度 (R14)		
収 益 的	収 入 金	21,401	30,127	29,019	28,238	27,668	27,302	27,267	26,253	26,199	26,047		
	うち 基 準 内 繰 入 金	11,005	9,326	7,887	8,201	7,325	6,704	6,454	5,271	5,067	4,777		
資本 的	繰 入 金	10,396	20,801	21,132	20,037	20,343	20,598	20,813	20,982	21,132	21,270		
	うち 基 準 内 繰 入 金	25,853	13,881	12,078	8,987	8,939	8,894	8,852	8,241	8,458	7,758		
資 本 的	繰 入 金	9,152	9,093	9,038	8,987	8,939	8,894	8,852	8,241	8,458	7,758		
	うち 基 準 内 繰 入 金	16,701	4,788	3,040	0	0	0	0	0	0	0		
合 計	繰 入 金	47,254	44,008	41,097	37,225	36,607	36,196	36,119	34,494	34,657	33,805		
	計												

【收益-個別】

(単位:千円)

[illegible]

【資本_個別】

区分		年度											(単位:千円)
		2023年度 (R05)	2024年度 (R06)	2025年度 (R07)	2026年度 (R08)	2027年度 (R09)	2028年度 (R10)	2029年度 (R11)	2030年度 (R12)	2031年度 (R13)	2032年度 (R14)		
資本的収入	1. 企業標準化債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	うち資本費平準化債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	2. 他会計出資金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	3. 他会計補助金	1,597	1,464	1,509	1,358	1,251	1,087	632	565	553	461		
	4. 他会計負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	5. 他会計借入金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	6. 国(都道府県)補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	7. 固定資産売却代金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	8. 工事負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	9. その他の他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
計 (A)		1,597	1,464	1,509	1,358	1,251	1,087	632	565	553	461		
(A)のうち翌年度へ繰り越される支出の財源充当額 (B)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
純計 (A)-(B) (C)		1,597	1,464	1,509	1,358	1,251	1,087	632	565	553	461		
資本的支出	1. 建設改良費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	うち職員給与費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	2. 企業償還金	1,597	1,630	1,663	1,468	1,428	1,269	707	607	618	520		
	3. 他会計長期借入返還金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	4. 他会計への支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
5. その他の他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
計 (D)		1,597	1,630	1,663	1,468	1,428	1,269	707	607	618	520		
資本的収入額が資本的支出額に不足する額 (D)-(C) (E)		0	166	154	110	177	182	75	42	65	59		
補填財源	1. 損益勘定留保資金	0	166	154	110	177	182	75	42	65	59		
	2. 利益剰余金処分額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	3. 繰越工事資金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	4. その他の他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
計 (F)		0	166	154	110	177	182	75	42	65	59		
補填財源不足額 (E)-(F)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
他会計借入金残高 (G)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
企業償還金残高 (H)		12,099	10,469	8,807	7,339	5,911	4,642	3,934	3,327	2,709	2,190		

○他会計繰入金

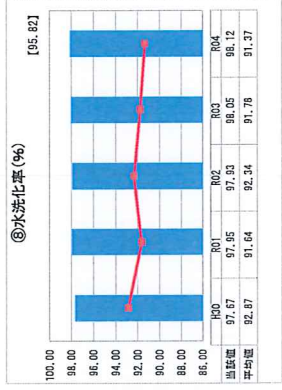
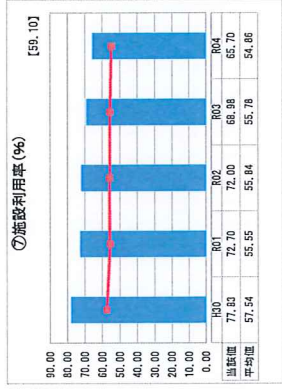
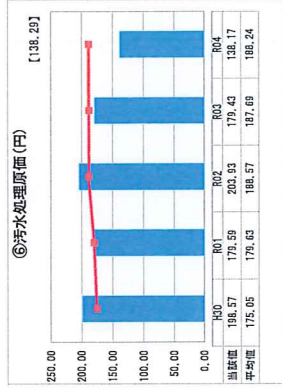
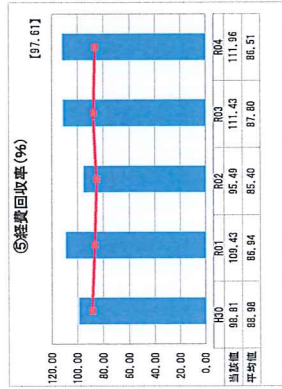
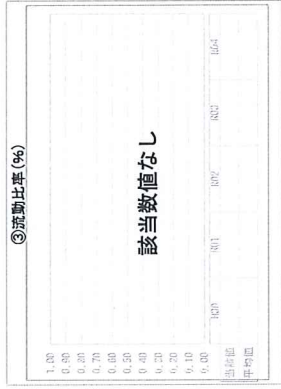
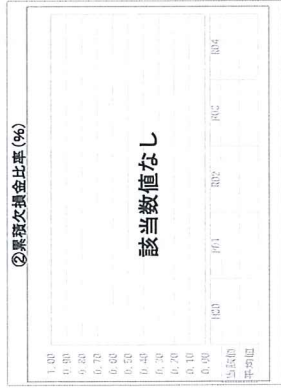
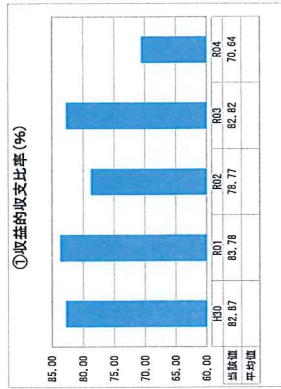
区 分		年 度										2032年度 (R14)	
		2023年度 (R05)	2024年度 (R06)	2025年度 (R07)	2026年度 (R08)	2027年度 (R09)	2028年度 (R10)	2029年度 (R11)	2030年度 (R12)	2031年度 (R13)			
収 益 的	収 支 分	1,410	1,552	1,468	1,397	1,207	951	638	515	491	468	2032年度 (R14)	
	うち基準内繰入金	996	956	858	774	572	305	100	85	71	58		
	うち基準外繰入金	414	596	610	623	635	646	538	430	420	410		
資 本 的	収 支 分	1,597	1,464	1,509	1,358	1,251	1,087	632	565	553	461	2032年度 (R14)	
	うち基準内繰入金	389	389	389	389	389	389	389	389	389	389		
	うち基準外繰入金	1,208	1,075	1,120	969	862	698	243	176	164	72		
合 計		3,007	3,016	2,977	2,755	2,458	2,038	1,270	1,080	1,044	929	2032年度 (R14)	

経営比較分析表（令和4年度決算）

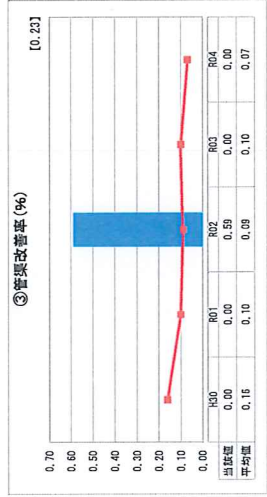
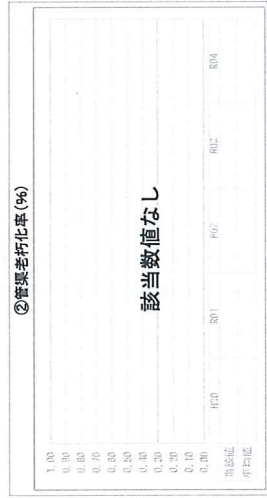
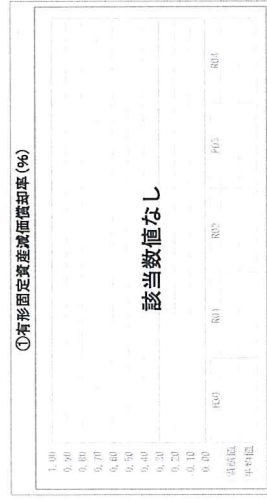
岡山県 和気町		事業名		類似団体区分	管理者の情報		人口（人）	面積（km ² ）	人口密度（人/km ² ）
業務名	業種名	公共下水道	下水道事業	Gd1	非設置		13,423	144.21	93.08
法非適用	自己資本構成比率（%）	普及率（%）	70.82	有収率（%）	1か月20m ³ 当たり受託料金（円）		処理区域内人口（人）	処理区域面積（km ² ）	処理区域人口密度（人/km ² ）
資金不足比率（%）	該当数値なし	70.82		74.28	3,115		9,447	6.14	1,538.60
-	該当数値なし								

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
-	類似団体平均値（平均値）
□	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について
令和4年度決算について、令和5年度からの法適用移行に伴う打ち切り決算であるため、表示されている値では分析は不可能である。
経費回収率については、類似団体と比較すると高い水準を維持しているが、100%を下回る年度もある。今後さらなる適正な維持管理に努める必要がある。
汚水処理原価については、平成29年度以降は値を上げて推移している。類似団体と比較しても、同水準であり、今後さらなる適正な維持管理に努めるとともに、接続率の向上に努める必要がある。
施設利用率については、近年微減傾向がみられる。類似団体と比較して高い水準であるが、人口減少に伴う施設規模の適正化を検討する必要がある。水洗化率については、ほぼエリア全域に普及しているが、一部未接続があり、さらなる普及促進に努めていきたい。類似団体と比較して、高い水準の理由として、下水道事業への早期取組が要因と考えられる。

2. 老朽化の状況について
管渠の改善率については、近年、管渠修繕の実施がなかったが、今後はストックマネジメント計画をもとに管渠の更新に取り組んでいく。

全体総括
経営の健全化に向けて、さらなる維持管理の効率化で経費削減に努め、適正な資金決定を進める必要がある。また、施設の老朽化に備え、処理場施設や管渠等の計画的な更新を進め、健全な事業運営に努める。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

経営比較分析表（令和4年度決算）

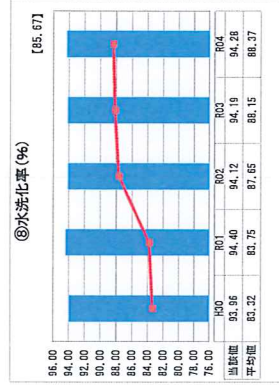
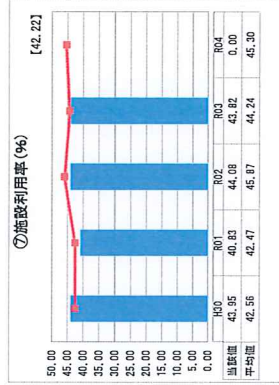
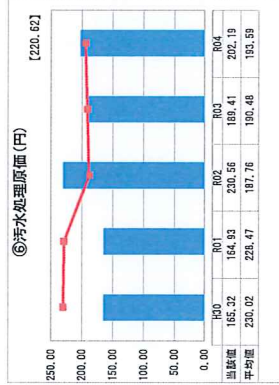
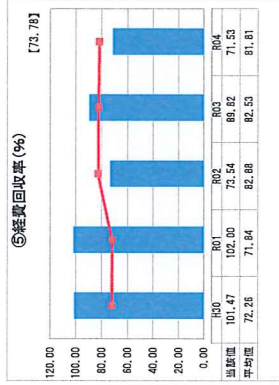
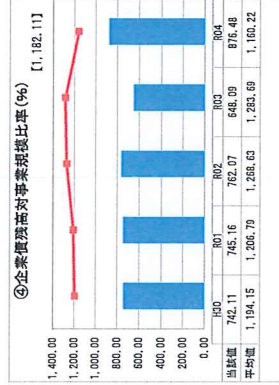
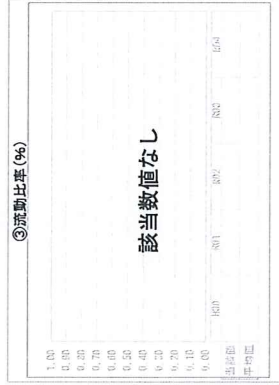
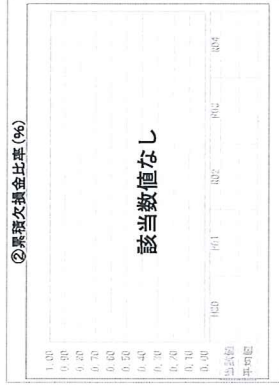
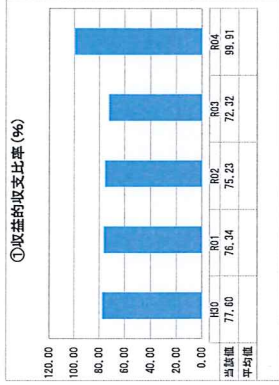
岡山県 和気町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1ヶ月20㎡当たり家賃増減金(円)
-	該当数値なし	23.45	87.00	3,115

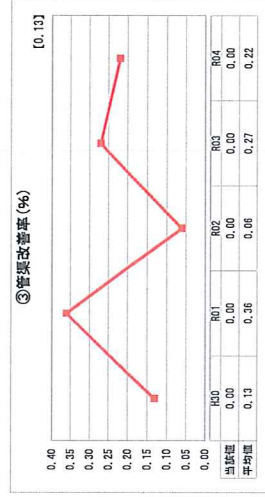
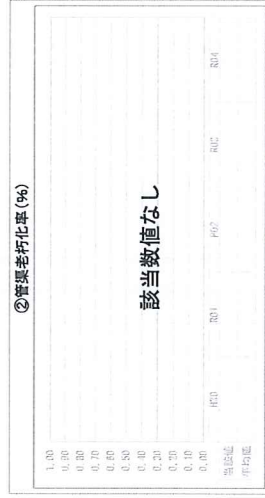
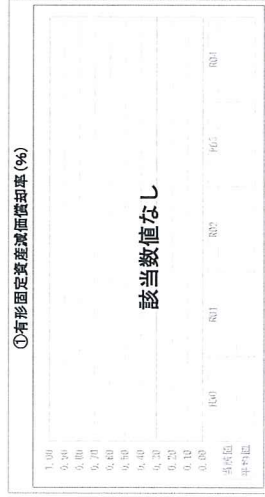
面積(k㎡)	人口(人)	人口密度(人/k㎡)
144.21	13,423	93.08
処理区域面積(k㎡)	処理区域内人口(人)	処理区域人口密度(人/k㎡)
1.82	3,128	1,718.68

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
□ 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



1. 経営の健全性・効率性について

令和4年度決算について、令和5年度からの法適用移行に伴う打ち切り決算であるため、表示されている値での分析は不可能である。
経費回収率については、適正な使用料収入の確保及び汚水処理原価の削減に努める必要がある。増加したことによる増加が見受けられる。今後さらなる適正な維持管理に努めるとともに、下水接続率の向上に取り組む必要がある。
施設利用率については、人口減りにより数値が反映されていないが、多少の増減があるものの、ほぼ横ばいである。今後も人口減少に伴う施設規模の適正化を検討する必要がある。
ほぼエリア全域に下水道が普及しているが、一部未接続があるため、普及促進に努めていきたい。

2. 老朽化の状況について

管渠改善率については、近年では管渠の更新等の実績がありませんが、今後においては、管渠の更新計画の策定を実施し、長期的な視点で検討する必要がある。

全体総括

経営の健全化に向け、さらなる維持管理の効率化で経費削減に努め、料金の適正な設定及び改定を後継更新等に備え、処理場、管理等の長期的な更新計画を策定を行う。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

経営比較分析表（令和4年度決算）

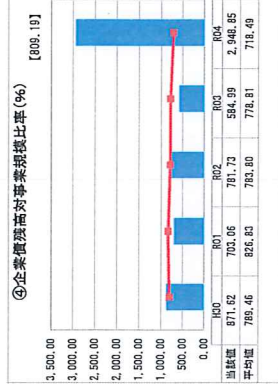
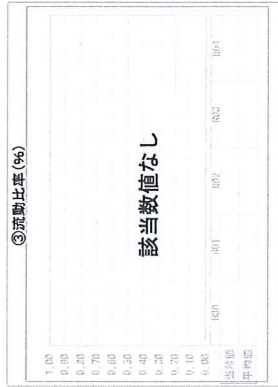
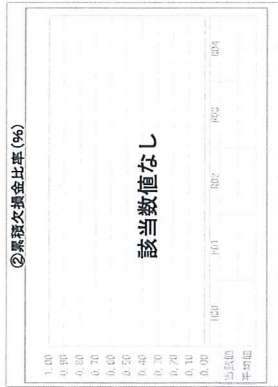
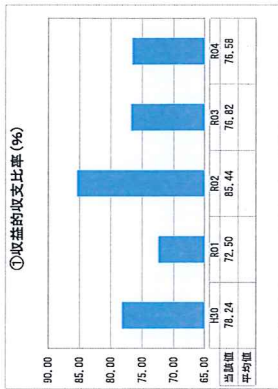
岡山県 和気町

業務名	業種名	事業名	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	1か月20m³当たり家賃料金 (円)
-	該当数値なし	4.64	3,115

人口 (人)	面積 (km²)	人口密度 (人/km²)
13,423	144.21	93.08
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km²)	処理区域人口密度 (人/km²)
619	0.34	1,820.59

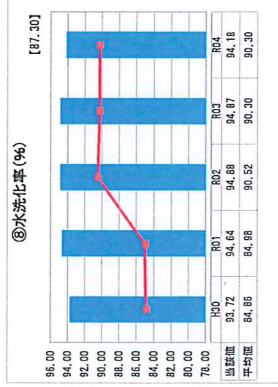
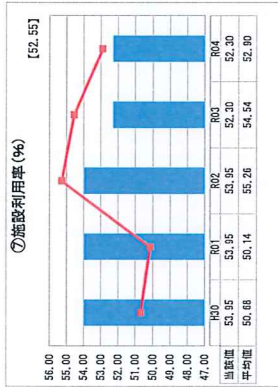
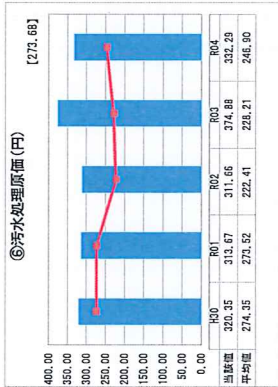
グラフ凡例
■ 当該団体の値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
□ 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



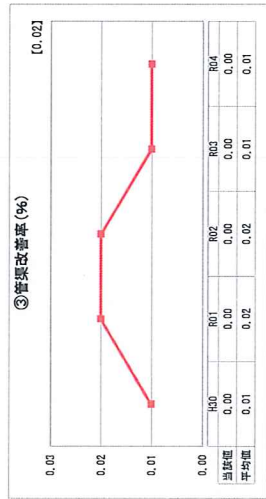
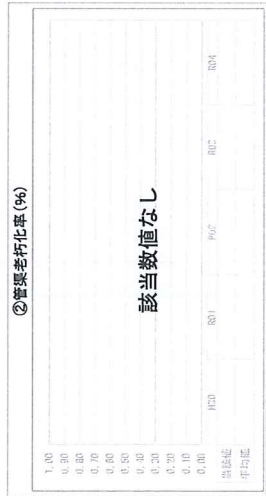
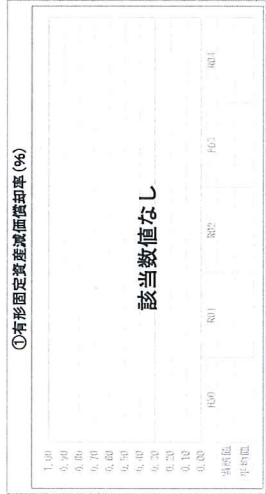
分析欄

1. 経営の健全性・効率性について
令和4年度決算について、令和5年度からの法適用移行に伴う打ち切り決算であるため、表示されている値では分析は不可能である。今後は収益的収支比率については、一般会計繰入金の減少により、前年度比較では悪化が見られる。今後は適正な維持管理に努めていく。
企業債務対専業規模比率については、類似団体と比較し、低い水準となっているため、適切な投資と規模となるよう改善していく必要がある。
経費回収率については、大きな変動はなく、類似団体より低い水準である。今後も一層、維持管理の効率化を図り、経費削減に努めていく。
汚水処理原価については、類似団体より高い傾向にあり、稼働率も高いことから、汚水処理量の増加はほぼ見込めない。したがって、適正な維持管理に努め、経費利用率を向上させる。
施設利用率については、令和2年度から、類似団体を下回る稼働率となっており、施設の老朽化による更新が必要である。さらなる施設の老朽化を防止し、更新計画を策定し、長期的な視点で検討する必要がある。



2. 老朽化の状況について
管渠改善率については、近年更新等の実績はあり、また、今後、更新計画を策定し、長期的な視点で検討する必要がある。

2. 老朽化の状況



全体総括
経営の健全性に向け、使用料の適正設定及び、一層の維持管理の効率化を図り、経費削減に努める必要がある。
また、施設の老朽化や人口減少による改善更新等に備え、処理場・管渠等の長期的な更新計画を策定し、健全な事業運営に努める。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

経営比較分析表（令和4年度決算）

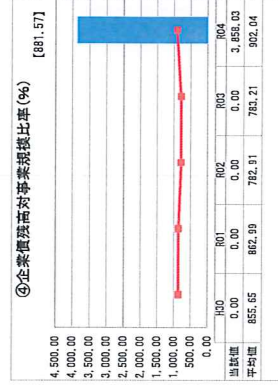
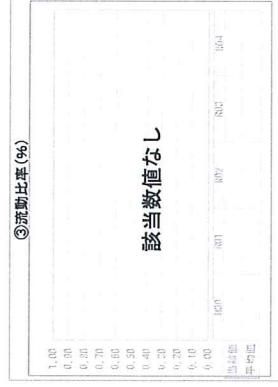
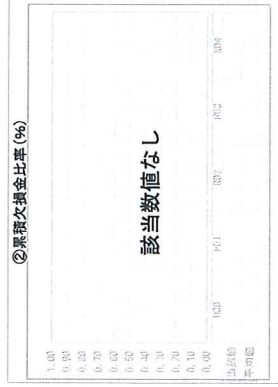
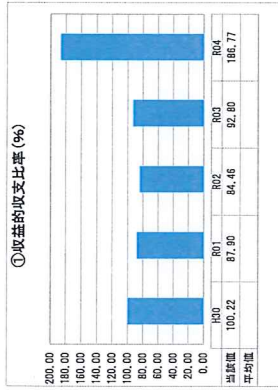
岡山県 和気町

業種名	業種名	事業名	管理者の情報
法非適用	下水道事業	個別排水処理	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20㎡当たり家庭単金(円)
-	該当数値なし	0.31	3,115

面積(km ²)	人口(人)	人口密度(人/km ²)
144.21	13,423	93.08
処理区域面積(km ²)	処理区域内人口(人)	処理区域内人口密度(人/km ²)
0.01	42	4,200.00

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
□ 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



1. 経営の健全性・効率性について

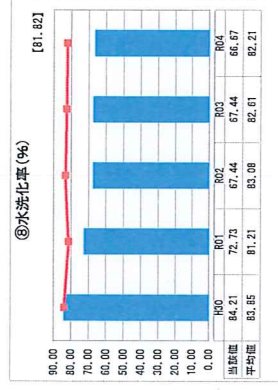
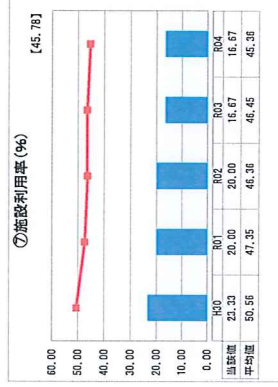
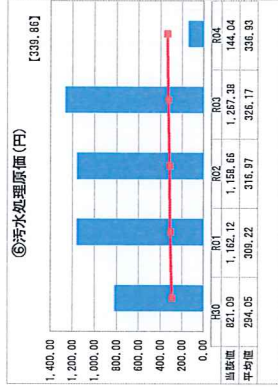
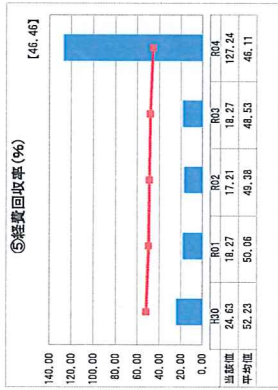
令和4年度決算について、令和5年度からの法適用移行に伴う打ち切り決算であるため、表示されている値での分析は不可能である。

今後について、収益的収支比率は、使用料以外の収入に依存しているため、経費回収率の向上を図る必要がある。また、経費回収率については、類似団体より低い水準であり、適正な使用料収入の確保及び汚水処理原価の削減に努める必要がある。

汚水処理原価については、類似団体より高い水準であり、規模に応じた適正な運営により維持管理費の削減に努める必要がある。

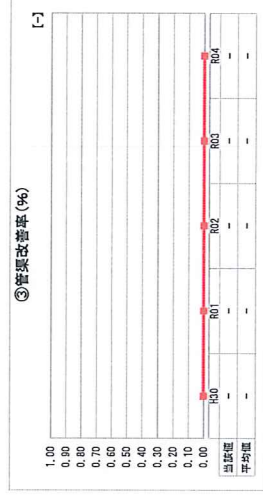
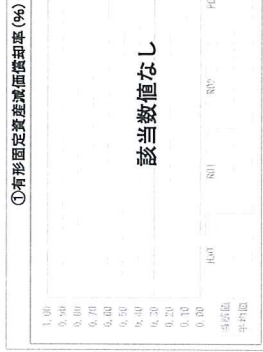
施設利用率については、処理区域内人口が極めて少ないので、人口の減少による影響が非常に大きくなる。人口に応じた、施設規模の適正化を図る必要がある。

水泳比率については、設置施設の不在等人口の減少により低下がみられる。



2. 老朽化の状況について

浄化槽であるため、管渠の老朽化はありません。



全体総括

経営の健全化に向け、現在の規模に応じて維持管理の効率化を図り、経費削減に努める必要がある。また、料金の適正な設定を行うことで、経営の健全性を図る必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

経費回収率向上に向けたロードマップ

1. ロードマップ

経費回収率の向上に向けた使用料の適正化を目的とし、概ね 5 年毎に使用料改定の必要性について検討を行います。

項目	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
経営戦略 計画期間					経営戦略計画期間					
経営戦略 改定					改定					改定
下水道使用料 検討		検討					検討			

2. 業績目標

① 計画期間

10 年間 (R5～R14)

② 取組内容

- ・下水道使用料の検証による事業運営の適正化
- ・水洗化率の向上による下水道使用料収入の確保

③ 業績目標

- ・水洗化率 95%以上 (R15)

公共下水道事業 97%以上

特定環境保全公共下水道事業 93%以上

農業集落排水事業 90%以上

個別排水処理事業 60%以上